



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社ユビキタス 上場取引所 JQ NEO  
 コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家高 朋之 (TEL) 03(5908)3451  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 榎木 玲子 配当支払開始予定日 -  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	198	△0.3	30	△31.5	31	△32.8	16	△39.6
22年3月期第1四半期	198	50.2	44	285.7	47	215.3	27	242.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	199	57	189	17
22年3月期第1四半期	332	93	327	56

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	1,923		1,834		95.0	21,591	68	
22年3月期	2,074		1,787		85.9	21,294	92	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,827百万円 22年3月期 1,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-		0	00	-		0	00
23年3月期	-							
23年3月期(予想)			0	00	-		0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	540	0.9	150	△36.9	150	△38.2	90	65.8	1,071	91
通期	1,210	4.3	400	△13.7	400	△15.1	240	30.8	2,858	44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	85,570株	22年3月期	84,600株
23年3月期1Q	938株	22年3月期	938株
23年3月期1Q	84,289株	22年3月期1Q	83,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 2 「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

毎期第1四半期累計期間は低めの進捗率となる傾向にありますが、当第1四半期累計期間においては通期業績予想に対して売上高で16.4%、純利益で7.0%の達成率となり、おおむね当初の見込み通り推移しております。

形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高183,987千円、サポート売上高14,232千円となりました。

分野別の業績については以下のとおりです。

ネットワーク関連のうち、ゲーム分野は、昨年度のような話題性のある大型ゲームソフトの発売はなかったものの、比較的堅調に推移しました。

また、ネットワーク分野においては、前事業年度に引き続きセットトップボックスのサポートによる売上高を計上したほか、国内大手電機メーカーが昨年9月に発売したレコーダーに搭載された「Ubiquitous Network Framework」も堅調に量産ロイヤルティを獲得しております。さらに、「Ubiquitous DTCP-IP」は国内大手電機メーカーが本年5月に発売したテレビに搭載され、量産ロイヤルティを獲得しております。

データベース関連では、検索、ソート機能の機能強化に加え、データ挿入・更新・削除の大幅な性能向上を実現し、従来版と比較して、データ挿入・更新で約2倍、データ削除で約10倍近い処理速度を向上させたUbiquitous DeviceSQLの最新バージョン4.3の開発に成功し、5月より販売を開始しました。また、潜在顧客向けの技術セミナーも引き続き開催し、採用拡大に向け営業活動を継続しております。

デバイス高速起動関連では、市販の携帯ネットワーク端末上で、完全に電源を切った状態からAndroidを高速起動することに成功し、本年5月に開催された「組込みシステム開発技術展 ESEC2010」においてデモンストレーションを行いました。また、「Ubiquitous QuickBoot (以下 QuickBoot)」を株式会社アットマークテクノの組込みプラットフォーム「Armadillo (アルマジロ)シリーズ」に適用し、中小規模の組込みシステムに対するQuickBootの採用を促進していくことで協業することを発表いたしました。今回の協業で、ArmadilloシリーズにQuickBootを搭載した製品をラインアップし、2010年秋からの販売開始を目指します。QuickBootは、国内外の展示会でも引き続き、高い関心を集めており、製品採用に向けての営業活動を継続しております。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として117,566千円(前年同四半期比24.6%増)を計上し、また、不動産賃借料等の経費として122,021千円(同10.9%減)を計上いたしました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は27,194千円(同10.1%増)です。

以上の結果、営業利益30,217千円(同31.5%減)、経常利益31,845千円(同32.8%減)、四半期純利益は16,821千円(同39.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より150,807千円減少して1,923,869千円となりました。流動資産は、売掛金や繰延税金資産の減少により前事業年度末より102,958千円減少して1,314,580千円となり、固定資産は差入保証金の減少等により47,849千円減少し609,288千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より198,184千円減少して89,299千円となりました。流動負債は、未払金や未払法人税等の減少により前事業年度末より206,398千円減少して81,085千円となり、固定負債は資産除去債務の計上により8,214千円増加して8,214千円となりました。

また、純資産は、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金が前事業年度末よりそれぞれ14,475千円増加し、資本金539,150千円及び資本準備金509,150千円となりました。利益剰余金は、四半期純利益16,821千円の計上により前事業年度末より16,821千円増加して817,558千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より47,376千円増加して1,834,569千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の85.9%から95.0%となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

現時点において平成22年5月7日発表の第2四半期累計期間および通期業績予想を見直すべき重要な要素はなく、同予想を据え置くこととします。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ277千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は8,214千円です。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,035,596	1,018,280
売掛金	226,471	345,420
仕掛品	18,886	—
前払費用	24,382	26,752
繰延税金資産	5,737	20,737
その他	3,506	6,348
流動資産合計	1,314,580	1,417,539
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,435	24,242
減価償却累計額	△1,516	△502
建物(純額)	30,918	23,739
工具、器具及び備品	33,001	32,464
減価償却累計額	△17,305	△15,882
工具、器具及び備品(純額)	15,695	16,582
有形固定資産合計	46,614	40,321
無形固定資産		
ソフトウェア	118,292	98,124
ソフトウェア仮勘定	15,104	27,547
商標権	2,665	2,755
無形固定資産合計	136,062	128,427
投資その他の資産		
長期預金	300,000	300,000
差入保証金	35,602	98,407
繰延税金資産	91,009	89,981
投資その他の資産合計	426,612	488,389
固定資産合計	609,288	657,138
資産合計	1,923,869	2,074,677

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,794	6,390
未払金	10,890	53,922
未払費用	14,295	12,480
未払法人税等	1,478	157,982
未払消費税等	6,522	20,138
前受金	32,167	30,153
未払配当金	2,259	2,325
預り金	5,676	4,091
賞与引当金	1,000	—
流動負債合計	81,085	287,484
固定負債		
資産除去債務	8,214	—
固定負債合計	8,214	—
負債合計	89,299	287,484
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	539,150	524,675
資本剰余金	509,150	494,675
利益剰余金	817,558	800,737
自己株式	△38,511	△38,511
株主資本合計	1,827,347	1,781,576
新株予約権	7,221	5,617
純資産合計	1,834,569	1,787,193
負債純資産合計	1,923,869	2,074,677

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	159,725	183,987
サポート売上高	25,087	14,232
ソフトウェア受託開発売上高	14,000	—
売上高合計	198,813	198,219
売上原価	41,599	34,089
売上総利益	157,214	164,130
販売費及び一般管理費		
役員報酬	16,350	19,550
給料及び手当	24,613	31,801
賞与引当金繰入額	270	350
法定福利費	2,657	3,352
減価償却費	1,076	1,302
不動産賃借料	8,236	3,886
支払手数料	22,318	21,896
消耗品費	1,058	865
研究開発費	24,694	27,194
その他	11,817	23,713
販売費及び一般管理費合計	113,093	133,913
営業利益	44,121	30,217
営業外収益		
受取利息	1,196	260
為替差益	32	—
雑収入	2,044	1,421
営業外収益合計	3,273	1,681
営業外費用		
為替差損	—	53
営業外費用合計	—	53
経常利益	47,394	31,845
税引前四半期純利益	47,394	31,845
法人税、住民税及び事業税	19,638	1,051
法人税等調整額	△72	13,972
法人税等合計	19,565	15,023
四半期純利益	27,829	16,821



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当社は、組込ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。